

# 久喜市議会

## 平成25年9月定例会

### 市政に対する質問通告

第1日目	質問予定議員(発言順)
9月6日(金) 午前9時～	①岡崎克巳 議員 ②渡辺昌代 議員 ③岸 輝美 議員 ④杉野 修 議員 ⑤齋藤広子 議員 ⑥田村栄子 議員 ⑦山田達雄 議員
第2日目	質問予定議員(発言順)
9月9日(月) 午前9時～	①盛永圭子 議員 ②石田利春 議員 ③石川忠義 議員 ④木村奉憲 議員 ⑤内田 正 議員 ⑥井上忠昭 議員 ⑦戸ヶ崎博 議員
第3日目	質問予定議員(発言順)
9月10日(火) 午前9時～	①鈴木精一 議員 ②猪股和雄 議員 ③春山千明 議員 ④宮崎利造 議員 ⑤矢崎 康 議員 ⑥鈴木松蔵 議員
第4日目	質問予定議員(発言順)
9月11日(水) 午前9時～	①青木信男 議員 ②梅田修一 議員 ③園部茂雄 議員 ④足立 清 議員 ⑤大谷和子 議員

## 目 次

### 【第1日目 9月6日(金)】

① 岡崎 克巳	議員	.....	1
② 渡辺 昌代	議員	.....	1
③ 岸 輝美	議員	.....	3
④ 杉野 修	議員	.....	3
⑤ 齋藤 広子	議員	.....	5
⑥ 田村 栄子	議員	.....	6
⑦ 山田 達雄	議員	.....	7

### 【第2日目 9月9日(月)】

① 盛永 圭子	議員	.....	9
② 石田 利春	議員	.....	10
③ 石川 忠義	議員	.....	12
④ 木村 奉憲	議員	.....	13
⑤ 内田 正	議員	.....	15
⑥ 井上 忠昭	議員	.....	15
⑦ 戸ヶ崎 博	議員	.....	17

### 【第3日目 9月10日(火)】

① 鈴木 精一	議員	.....	19
② 猪股 和雄	議員	.....	21
③ 春山 千明	議員	.....	23
④ 宮崎 利造	議員	.....	24
⑤ 矢崎 康	議員	.....	25
⑥ 鈴木 松蔵	議員	.....	26

### 【第4日目 9月11日(水)】

① 青木 信男	議員	.....	27
② 梅田 修一	議員	.....	27
③ 園部 茂雄	議員	.....	28
④ 足立 清	議員	.....	29
⑤ 大谷 和子	議員	.....	30

# 【第1日目 9月6日（金）】

## ① 岡崎克巳 議員

### 1 市民課受付モニター（番号案内表示機）の設置について。

本庁1階、市民課及び、国民健康保険課の来庁者に対しては、各申請書に記入後、3か所の発券機で発券をし、受付番号が番号表示板により表示され、職員の番号呼び出しにより、受付がなされ、対応している。しかし、市民からは、「もう少し、わかりやすくしてほしい」との声がある。また、事務の効率化も図っていかなければならない。民間の銀行や企業での受け付けは、大画面モニターによる音声表示が一般的で、待ち時間の表示までしている。近隣の蓮田市では、民間の広告企業が提案する「広告付き番号案内表示機等」の企画を採用し、1階市民課に音声表示による大画面モニターを設置している。これは、設置する機材の費用およびランニングコストを広告料で賄うため、自治体の財政負担なく運用が可能で、1、市民サービスの向上 2、情報提供手段の充実 3、新たな財源の確保 4、職員に負担のない運営 5、地域活性化のお手伝いなど、5つの視点で行政サービスの向上が図れるものである。久喜市の本庁舎は耐震化の第1期工事として、1階市民課のフロアの工事が平成26年6月までの予定で行われるが、このときに合わせて、番号案内表示の受付モニターを設置すべきだが、市の考えを伺う。

### 2 総合運動公園整備について。

- (1) 市民グラウンドは「グラウンドゴルフ」、「サッカー」など、長年多くの市民に利用されている施設である。しかし、無料で使用できる多目的グラウンドと比べると、有料施設である市民グラウンドの表層の劣化は著しいものがあり、早急な修繕が必要である。市の対応策を伺う。
- (2) 総合運動公園の整備は計画的に進めていかなければならないが、市の考えを伺う。

### 3 市道久喜9247号線他、周辺の生活道路整備について。

久喜地区のJR線と東武線に囲まれた下早見地域の生活道路の整備は長年またれているところである。市道久喜9247号線とそれに接続する市道は、いまだ砂利道のところも少なくない。面的な整備を継続的に行っていく必要があるが、市の考えを伺う。

## ② 渡辺昌代 議員

### 1 子育てしやすい久喜市への取り組みについて。

子育て世代に久喜市に住んでもらう手だてを早急に取りなければ、久喜市の出生率は上がらない。少子化対策をどのように進めるのか。以下伺う。

- (1) 久喜市は、子ども医療費の対象年齢の拡大等を進めてきているが、すでに、更なる取り組みをしている自治体もある。久喜市でも対象年齢の更なる拡大、久喜市以外の医療機関等への窓口払い撤廃の拡大を進めるべきではないか。

- (2) 久喜駅西口地域に児童センターを作るべきではないか。南公民館の建て替えと合わせて、児童センター、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター、つどいの広場など兼ね備えたプラザを作るべきではないか。
- (3) 再び子育てガイドブックの作成に取り組むようであるが、今回は子育て世代の若い母親たちと一緒に作り上げた形ではなかった。ぜひ、今回はしっかりと、母親たちと作り上げ、参画する取り組みにしてほしいが、いかがか。
- (4) 子育て世代に久喜市を選んでもらい、出生率の向上を目指す上でも、独自施策を考えるべきではないか。それらを市全体で考える少子化対策チームを作るべきと要求してきたが、なかなか良い返事をいただいている。課の枠を乗り越えて、将来の久喜市、若い世代が活躍し賑わう久喜市をつくるための対策検討部（少子化対策チーム）を発足させるべきではないか。

## 2 高齢者ふれあい元気サロン事業について。

高齢者各種事業の中で、サロン事業は、独居老人の居場所づくり、コミュニケーション、いきがづくり、介護予防など、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指して行っている。中でも、このサロン事業は他のさきがけとなり、高齢者の方を支えてきた。しかし、ボランティアの方が家賃の工面から、事務所の維持管理、運営まで苦勞をしながら助けあっているのが現状である。せめて家賃補助を久喜市で全額みるなど、補助の増額はできないか。いかがか。

## 3 公民館の利用率向上について。

- (1) 合併後、公民館の利用が減って来ているように思われる。利用人数はどのように推移しているか。公民館ごとに伺う。
- (2) そもそも公民館は、法において無料が原則ではないのか。利用率の低下は何が原因と考えているのか。向上させるための施策はなにと考えるか伺う。
- (3) 各公民館の自主事業に対し、運営委員の配置を、平成23、24年度はどのように行ってきたか。運営委員が参加せずに行われた自主事業があるように思われるが、改善すべきではないのか伺う。
- (4) 地域交流センターの清掃は、利用予約可能な時に行うのではなく、時間帯の工夫をすべきではないか伺う。

## 4 市職員の労働環境改善について。

昨年の9月議会で悪化している労働環境の改善を要求した。しかし、いっこうに良くならない。今年も35度を超える猛暑日が続いた。日中5階では、30度を超える日が続いた。事務所衛生基準規則に照らしても早急に改善すべきである。空調機の改修はできていないのか。冷房の時間延長も合わせて行うべきである。職員の体調管理ができずに、市民の健康を守ることができようか。どう考えているのか伺う。

## 5 ミストシャワーの設置について。

猛暑の中、全国各地で相次いで熱中症で倒れる方がでてきている。ぜひ、各小中学校の校庭の出入りにミストシャワーを取り付けて、熱中症対策をすべきと考えるが、いかがか伺う。

### ③ 岸 輝 美 議員

#### 1 選挙における投票率の向上について。

来春には市長、市議会議員選挙がおこなわれる。最近国政、県政、市政を問わず低投票率が続いている。投票率の向上について伺う。

- (1) 有権者の投票率UPについて方策を伺う。
- (2) 2年前の「活性化検討委」でも協議されたが、小中学生での各学校単位での「子ども議会」の開催、市議会の傍聴等選挙を学習する機会の充実が望まれる。考えを伺う。

#### 2 市庁舎の改修と市施設の有効活用について。

先の6月定例会終了後の「全員協議会」で市本庁舎の耐震補強工事、合わせて改修工事の内容が報告され、今議会では「工事請負契約」に関する議案も審議される。そこで伺う。

- (1) 11月末日までとされる旧「幸手保健所久喜分室」(第2庁舎)改修工事の進捗状況を伺う。
- (2) 本庁舎改修工事に合わせ(前から)総合支所庁舎の活用が進んでいる。他の市施設の有効活用を図るべきである。以下伺う。
  - ア 吉羽浄水場建物(旧水道部)の現状と活用方法。
  - イ 鷺宮浄水場建物(旧鷺宮町水道部)の現状と活用方法。
- (3) 本庁舎は耐震補強工事に合わせた改修工事ではあるが、耐用年数60年とされている。改修内容について、今後何らかの形で職員又は市民の意見を求める事はあるか伺う。

#### 3 都市間提携事業の充実について。

先の刈谷市との災害時相互応援協定(遠隔都市)に次ぎ、「野辺地町」との友好都市提携協定の調印もなされた。国内・国際問わず都市間交流を進めていくべきと考える。以下伺う。

- (1) 野辺地町との都市間交流の中身について伺う。
  - ア 行政同士での交流の内容は。
  - イ 市民同士での交流の内容は。
- (2) 進んでいない国際友好都市提携を現菖蒲地区(ローズバーグ市)、鷺宮地区公益社団法人少年軟式野球国際交流協会(IBA)、旧久喜市の活動に踏まえ進めていくべきと考える。考えを伺う。
- (3) かつて国際交流活動に大きな貢献をなした旧久喜市国際交流協会が活動を停止している。再建へ支援を図るべきと考えるが。

### ④ 杉 野 修 議員

#### 1 久喜市鷺宮地内における違反建築物に対する市の対応について。

これまで質問等でとり上げてきた違反事案(建築許可を得ずして建築した)は、一向に進展が見られていない。この現状に対して市はなすべき行政処分を行っていないのではないかとの指摘もされている。以下あらためて伺う。

- (1) これまで市は、違反者に対しいかなる指導や処分を行ってきたか。時系列に伺う。
- (2) それに対し、これまで違反者からの是正計画は出されたか。その内容はどのようなものであったかについて伺う。
- (3) 違反建築物が未だに「除却」されていないことに関しての市の見解を伺う。
- (4) 住民の安寧と当該地域の秩序維持のため、市が行政としての速やかな行動をとるよう求めるがいかがか。

## 2 国の生活保護制度見直しによる影響と対策について。

厚労省は、「デフレ調整」と「ゆがみ調整」の名目で、8月から生活保護基準引き下げを行った。このことによってほとんどの世帯が深刻な影響を受けることになる。

- (1) 法改正によって本市の受給世帯に及ぼす影響を以下伺う。
  - ア 減額になる世帯数、年間平均減額分は。
  - イ 本市における世帯類型別に見たときの特徴的な影響は。
- (2) 「デフレ調整」とは、物価の下落があったことによるとされているが、埼玉県内や久喜地域における物価動向について、市はどのように把握してきたか伺う。
- (3) これまで「最低生活基準」とされてきた数値が減額になるので、受給世帯はさらに生活を切り詰めることしか選択肢は残されていない。市の認識を伺う。
- (4) 今回の基準見直しによる「減額相当分」を、久喜市が「低所得者支援事業」（仮称）として実施に向けた検討を行うよう求めるが、認識を伺う。

## 3 鷲宮・東大輪地区における電波障害への対応について。

一般の落雷によって、当該地区に再び電波障害が発生した。住民は自ら、事業者や行政にかけ合い、休日にもかかわらず受信機を改修した。しかし同時に、その際の行政の対応がどうであったのか問われている。

- (1) 落雷発生後、住民から連絡・依頼が来てからの行政の対応を伺う。
- (2) 6月議会での一般質問に対する答弁、認識と、今回、行政がとった対応との間にギャップがあったと指摘されている。このことをどうとらえるか伺う。
- (3) 業者への指導も含め、要綱等に基づく機敏な対応が求められている。どう改善を図るか伺う。

## 4 青毛堀川拡幅工事について。

とくに鷲宮地域における大雨水害対策として効果が期待されている青毛堀川の拡幅工事は、地域住民のみならず、各用水路の下流域の自治体も大きな期待を寄せている。事業の早期完成に向けて、市としても県との連携や住民への広報活動が欠かせない。それらを踏まえて以下伺う。

- (1) 調節池事業の進捗状況と残された事業の内容。
- (2) 青毛堀川本川の拡幅工事の完成予定は。
- (3) 調節池造成工事による貯水池機能は、現状では局所的豪雨に対する「受け皿機能」としてどれほどを見込めるか。
- (4) 以上の内容等を地域住民（大雨被害の発生する地域の）に「途中経過」としながらも広報していく必要があると考えるが、対応方針を伺う。

5 市立図書館の業務に指定管理者制度を導入することについて。

本市では「改革推進」の名による公の施設の運営方針が「市長決裁」で決定されている。しかし、市民合意や、議会の承認もない中では、「指定管理者制度の導入」が決定したとは言えない。ところが、各担当者の現場では、既定の事実としてそのための準備など事務作業が進められている。市民の中での「教育事業を民間に任せるのは同意できない」との声を市も教育委員会も真剣に受け止めるべきではないか。以下伺う。

- (1) 図書館の各サービスの向上と業務の改革に向けて市民・利用者と共に検討を進めることは必要であるが、その考えはあるか伺う。
- (2) この間、議会審議の中で、指定管理者制度導入の前提であるサービス向上や、経費削減効果について数値も含めた具体的根拠は、未だに示されていない。現状も同様か伺う。また、上記の「検討」にあたっては、それらの根拠を提示することが不可欠であると考えるがいかがか。
- (3) 久喜市図書館協議会では、かつて指定管理者制度に関して「自由な意見表明」はあったがその際、導入については否定的な意見も多く出された。教育委員会は図書館協議会に対し「図書館業務に指定管理者制度を導入すること」について諮問をすべきではないか。考えを伺う。
- (4) 議会でも行政委員会としての独立性、中立性が問われてきた。そこで、教育委員会の図書館政策については教育委員会の所掌であるので、上記の事柄を踏まえて教育委員会としての見解を教育委員長に伺う。

⑤ 齋藤広子 議員

1 図書館事業について。

- (1) 指定管理に対しての市側からのコンセプトとして、以下の点をどのように考えているか伺う。
  - ア 図書司書の配置は、100%にするか。
  - イ 市内のどの図書館を指定管理にするのか。
  - ウ 何年度から移行の予定か。
  - エ 学校図書館との連携については、どのように考えているのか。
- (2) 中央図書館において子育て中の父母が、子連れでも気兼ねなく図書館に訪れる事ができる「赤ちゃんタイム」を設けては、如何か。
- (3) 市内の小学生から「子ども司書」を募集し、図書館の仕事を通して、更に本に興味と関心を持てる環境を作るべきと思うが如何か。

2 「がん対策」について。

- (1) 「胃がんABCリスク検診」とは、血液検査でピロリ菌抗体と胃の委縮度を測るペプシノゲンを測定し、その組み合わせから胃がん発症のリスクを明らかにするものである。その結果をもって、リスクのある人は専門医の内視鏡による精密検査を行うという対象を絞った効率的な胃がん検診を行おうとするものである。また、ピロリ菌が発見された場合は、その除菌を行い胃がんになる危険性を低くする検査でもある事から胃がんの早期発見、またリスクが少ない「胃がんABCリスク検診」を行う事は、できないか伺う。

- (2) 高崎市で行っている事業で、成人を迎えた人に無料でピロリ菌検査をすることにより、将来の胃がんリスク者を医療につなげ、胃がん罹患率の減少を図る「20歳のピロリ検診」を実施しては如何か。
  - (3) 文部科学省は、小中高校でがんに関する保健教育を強化する方針を決めた。教育委員会が独自に教材を作ったり、医療専門家や闘病経験者を招いて授業を行ったり、教育者に向けてがんの知識や理解を深める研修など行うとあるが、当市の教育委員会としては、命の大切さなどを総合的に取り組む体制をどう考えているか伺う。
- 3 官民協働事業について。
- (1) 子育て世代の情報誌として「子育てガイドブック」を作成するとの事であるが、若い世代のニーズにあったガイドブックを作成するには、子育て世代のリサーチを行っている専門性の高い民間業者を取り入れ官民協働の広告媒体でゼロ予算でできるガイドブックを作成しては、如何か伺う。
  - (2) 介護情報誌も官民協働事業で行っている所があるが久喜市でも作成できないか伺う。
- 4 「子ども医療費貸付制度」について。
- 6月議会で質問した子ども医療費が21,000円を超えた場合の医療費に対して、「窓口払いなしは、考えていない」との事であったが、高額になればもっと経済的負担が多くなるので、市として医療費が戻ってくる間、希望者には、「子ども医療費貸付制度」を行っていくべきと思うが如何か。

## ⑥ 田村 栄子 議員

- 1 学校給食について。
- (1) 久喜市立栗橋南小学校の学校給食の現状について。  
北校舎建替え後、元の自校式給食にいつ戻すのか。その構想を伺う。
  - (2) 子ども達にとって各学校がセンター方式から自校方式に移行することが理想の給食と考えるが、いかがか。
  - (3) 学校の調理室を防災拠点として活用することを今後積極的に考えるべきだが、いかがか。
  - (4) 学校給食審議会の進捗状況について伺う。
- 2 久喜市立小中学校の将来像について。
- 小中学校の児童数や生徒数の減少面から将来を見据えて考えなければならない時期に来ていると思う。
- (1) 児童数と生徒数の現状と将来の推移は久喜市全体と久喜地区、菖蒲地区、鷲宮地区、栗橋地区の4地区ではどう予想されるか。
  - (2) 児童数、生徒数の減少したときの問題をどう考えているか。
  - (3) 人数減少を想定したとき、各小中学校の個性・特色を生かすことが大事だが、小中学校の将来像をどのように考えているか。



### 3 南栗橋再生について。

- (1) 久喜市液状化対策推進事業の実証実験の進捗状況について伺う。
- (2) 実験結果が出た後、採用された工法で工事をするときの条件の一つである対象面積3000平方メートルの広さの取り方はどう考えればよいのか。
- (3) 地下水の流れは南栗橋3丁目から12丁目までつながっている。この影響をどのように捉えればよいのか。
- (4) 今後「相談窓口を設置する」とあるが特別に液状化の部署を支所に常駐させるものと捉えてよいのか。
- (5) 「再生南栗橋で災害に強いまちを目指して」とあるがその意気込みを具体的に示してほしいがいかがか。

### 4 原発事故後の放射線について。

- (1) 放射線測定費について。

国は「ホットスポット」対策に放射線測定費として年約1億3千万円の予算の事業を組み、対象地域を無制限にしたが、今のところ申請した自治体はない、とある。そこで久喜市として当事業を利用する予定はないか。
- (2) 放射線量の推移について。

市内小中学校の空間線量値が平成23年7月から今日まで定期的に測定されており、結果がホームページで報告されている。測定結果の推移を見ると初期段階から、特に鷲宮や栗橋地区の小中学校の数値が高く、現在は減少傾向に見えるが、結果の信頼性（有意の差の有無）はどうか。また、原因はいかがか。

### 5 子宮頸がんワクチン接種について。

久喜市のホームページに「子宮頸がんワクチン接種を積極的に勧めない。」のお知らせがあったが、それに対して接種対象者保護者からの問い合わせの状況はいかがか。また、その質問に対してどのように対応されているか。

## ⑦ 山田達雄 議員

### 1 南栗橋地区における液状化対策事業実施時における住民負担の軽減措置について。

- (1) 液状化対策実証実験への投資、そして得られた成果を無にしないためには事業実施に向けた住民意識を高める必要があると考える。今日まで地元説明会等開催されていると思うが住民意識についての感触を伺いたい。
- (2) 東日本大震災復興交付金による市街地液状化対策事業を実施するためには面積要件や同意取得、更には宅地部分の個人負担の問題など、幾つかのハードルがあると考えます。これらの要件をクリアする見通しについて市の考えを伺いたい。
- (3) 事業実施に向けては第一に宅地内個人負担の軽減策を講じてやらなければ前に進むことは出来ないと考えます。個人負担の軽減策についての市の考えは。

- 2 中川改修の事業促進と住民組織の立ち上げについて。
  - (1) 栗橋地区内における中川改修事業は休止状態にあるといてもいい。現在の状況について伺いたい。
  - (2) 栗橋地区内にある3本の基幹排水路はその全てが中川への放流となっている。これら3路線については県営湛水防除事業によってほぼ改修が済んでいるが、流末部における改修整備は一切施工されていない。これら排水路流末部の改修整備計画とそれぞれの橋梁のありようについての見解を伺う。
  - (3) 流末部の改修整備やそこに架かる橋梁のありようについて、地域住民の理解協力は不可欠である。対策協議会等、協力組織の立ち上げについての考えは。
  
- 3 救急救命医療機関としての体制整備に向けた支援措置について。
  - (1) 済生会栗橋病院の外来患者数は年々減少している。以下伺う。
    - ア 他の病院、又は開業医との相関関係はどのようになっているのか。
    - イ 医療連携システム等、病診連機能の成果と見るべきなのか。
  - (2) 患者たらいまわし事件以降の行政、消防、及び病院側の改善について以下伺う。
    - ア 消防において救急搬送体制の改善されてきた点、今後に残された課題は。
    - イ 病院側の受け入れ体制の充足は。
    - ウ 埼玉県が導入を予定しているタブレット型端末機への期待は。
  - (3) 一刻を争う救急患者の受け入れについて以下伺う。
    - ア 第3次救命救急センターを目指していた済生会栗橋病院の現況は。
    - イ 医師及び医療スタッフの充足こそが肝要と思われるが、そのための行政側の支援措置について。
  
- 4 来春任期満了を迎えるに当たって市長の市政担当に向けた今後の考えは。
  - (1) 過去4年間の自己評価について伺う。
  - (2) 市民の市長に対する評価をどのように捉えられているか伺う。
  - (3) 任期満了後における再度の市政担当に向けた今後の考えを伺う。

## 【第2日目 9月9日（月）】

### ① 盛永圭子 議員

#### 1 いきいき女性議会について。

女性議会で多くの方が、今、自分が考えていることや、こうしたら久喜市が良くなるのではないかという意見を立派に主張している。しかし、市長の答弁は1回だけである。もっと質問したいと思ってもできない状況だ。ここで伺う。

- (1) 女性議会の意見を今までに取り入れたことはあるのか。
- (2) 取り入れたことがあるとしたらどんなことか。
- (3) 質問に対して、一方的に答弁するというだけでは質問者が不満を持っているという声を聞いた。この件について工夫をしてはどうか伺う。
- (4) 1日に20数名が質問するということは時間的に無理があるのではないか伺う。

#### 2 防災訓練について。

各4地域に分かれ9月の第1土曜日に防災訓練を行っている。菖蒲地域は菖蒲、三箇、小林、栢間と、その小学校区を中心とし輪番で行っている。今までは土曜日ということでその小学校の全校生徒、職員が参加し、地域の人達と、避難訓練などに参加していた。ここ数年、子供達の参加はない。

3. 11以来、防災訓練の大切さ、命の大切さが見直されているというのに全校生徒の参加のない防災訓練は納得できない。なぜ参加させないのか伺う。

#### 3 おもてなし力UP、接遇力向上宣言について。

住民サービスの原点である「おもてなし」に力を入れるという考えは素晴らしいことと思う。おもてなし力UP、接遇力向上宣言をスローガンに掲げ、市民からよりいっそう親しまれる市役所になる取り組みを決定したことを高く評価する。しかし本庁も支所もその取り組みに対し、アピールが足りないのではないかと思う。

- (1) 接遇リーダーは職員の良き手本となるために、どのような接遇リーダー養成研修を受けたのか伺う。
- (2) 「久喜市接遇力向上庁内会議」を設置し、接遇力向上に向けた取り組みをどのように協議決定していくのか伺う。
- (3) 職員の対応についてのアンケートの回答の内容はどんなことが多いか伺う。
- (4) 「おもてなし力UP」の一番は笑顔と元気なあいさつではないかと思う。市民の皆さんに接遇態度について指摘されないよう、取り組みに力を注いでほしいと思うが、市の考えはいかがか伺う。

#### 4 未舗装状態（じゃり道）の生活道路の見直しを。

前回、生活道路の整備について質問した。しかし、なかなか改修ができないという答弁をいただいた。改修の条件は幅員を4メートルとし、両側、もしくは片側に側溝を設けることである。すべての舗装されている市道がそのようなになっているとは限らない。現状のまま、防塵舗装ができるところがあるのではないか伺う。

## ② 石田利春 議員

### 1 南栗橋液状化対策、復興に向けた取り組みについて。

液状化対策は、南栗橋地域に限定されたものだが、その成否は久喜市全体の街づくりにおいて、最重要課題であり、被災された方など皆さんの理解を得て必ず成功させる必要がある。更に、南栗橋を再生させ、新たな南栗橋地域復興の姿を示していく必要がある。以下伺う。

#### (1) 地下水位低下工法等について実証実験が行われている。その経過と結果について伺う。

ア これまでの実験の結果をどのように受け止めているか。

イ 液状化対策の範囲は液状化により地表面に影響が生じるおそれのある場所としているが、液状化対策を実施する範囲は、南栗橋地域全体を対象に考えていく必要があると考えるがいかがか。

ウ 液状化対策を実施した地域と、しない地域が影響し合うことが考えられるが、どうか。

#### (2) 液状化対策事業については市民の理解が得られなければ実施ができない。以下伺う。

ア 3分の2の賛成が必要との条件があるが、実際には全員の方の賛成を得て進めるべき事業と考えられる。その為に市は何をすべきと考えているか。

イ 南栗橋を再生させ、新たな南栗橋地域復興の姿を示していくことも重要と考える。南栗橋再生の姿はどのようなものと考えているか。

ウ 今後個別に事業の賛否を問うことが出てくる。窓口の対応はどのように考えているか。

#### (3) 液状化対策事業で個別負担金の軽減に向けた財政措置を求める要望が出されている。どのように受け止めているか。

#### (4) 潮来市、神栖市など先行している自治体の情報把握はされているか、その内容はどうか。

#### (5) 事前の価格調査や事業実施により、民地部分に影響が生じた場合の費用を誰が負担するのかについて、国からは明確な考え方は示されていないという状況との答弁であった。国の考え方に進展はあったか。

### 2 統合後のシルバー人材センターについて。

久喜市のシルバー人材センターが統合をすすめ、これまで実施していた事業が縮小している。市民からは合併とはこういうことかと、嘆きの声が聞かれている。市民サービスに比べられるシルバー人材センターが求められる。以下伺う。

#### (1) シルバー人材センターの状況について伺う。

ア 各地区別に登録されている人数、統合前と後。

イ 週一回実際に働いている人は、各地区別に。

#### (2) 久喜市は、シルバー人材センターの統一に向け、どのような姿勢で臨んだのか伺う。

ア 働いている人からの声はどのようなものがあると認識しているか。

イ 栗橋地区では、これまでシルバー人材センターが運営していた自転車修理などの業務がなくなった。市民に頼られていた拠点、市民から望まれていたものをなくすのは問題があると提起すべきではないか。

#### (3) 統合後のシルバー人材センターの運営状況をどのように把握しているか伺う。

ア 事業の中で、赤字部門と黒字部門について把握しているのか。

イ 久喜市営釣り場の指定管理を受けているが、赤字を出し、シルバー人材センターの事業を圧迫していると思うが市の見解はどうか。

ウ 釣り場が赤字であっても、指定管理契約は5年間なので協定内容については変更しないとしている。指定管理を受けたがゆえに、シルバー人材センターの運営そのものがゆらいでいる。この事態を市はどのように受け止めているのか。

エ 釣り場の赤字から黒字への転換を目指すべく努力していると思うが、市はどのようにかわるのか。

オ 「釣り場」で元気な経営をしているところもある。参考にして、市とシルバー人材センターの担うべきところを明確にし、再生させる必要があると考えるがどうか。

### 3 利根川の堤防強化事業に伴う市の対応について。

利根川の堤防を強化する事業がすすんでいるが、堤防強化に伴い家屋移転が90%以上進んだ状況を見ると、コミュニティを始めとして、これまでの歴史文化が消え、町並みが変わり、日用品を買うスーパーが閉店に追い込まれるなど地域に大きな影響を与えている。国や市は、移転に伴う様々な事柄に目配りし、対処していくべきと考える。以下伺う。

- (1) 八坂神社の樹木はなんとしても残してほしいとの声が聞かれる。市は八坂神社の樹木などの移転については、神社と国で協議して決めることだが、市としても緑の保全について、神社側に協力を求めるとの答弁をしている。どのような対応をされているか。
- (2) 八坂神社には大木が多い。けやきなど樹木の移転には、「根回し」など事前の準備が必要と聞く。樹木移転についてどのような認識を持っているか伺う。
- (3) スーパーが閉店したことで、近隣の高齢者など買い物に困難を来している。市としても、生鮮食料品の買い物ができるよう、手だてを考えるべき。市の対策は。

### 4 選挙で投票する機会を平等に保障することについて。

参議院選挙で埼玉県投票率は全国平均よりも低く、久喜市も例外ではなかった。選挙の投票をしたくても、投票をするのが身体的な面から投票が出来ない方、もしくは困難で「棄権」せざるを得ない方をなくす必要がある。選挙の投票をやりやすいようにすることを、検討すべきである。

- (1) 選挙管理委員会では、不在者投票で病院に入院・施設入所している場合、病院や施設内で投票できるようにしている。以下伺う。
  - ア 病院などでの投票率は把握できるか。できるとすれば先の参議院選挙の場合どれくらいであったか。地区別で。
  - イ 病院・施設の基準はどのような基準で決めているのか。入院中の方が申し出をすれば、どこの病院でも投票を可能にすることはできないか。病院での投票は決められた病院に限られるが、拡大することはできないか。
- (2) 郵便等による不在者投票ができるが、対象者の方がそのことを知らないでいたり、知っていても時間がかかり、投票に至らない場合が考えられる。簡素化に向けた取り組みが求められている。以下伺う。
  - ア 介護認定が5の方や、身体に重度の障がい等がある方など郵便による投票ができるがこのような方の、投票率は把握できるか。把握できるとすれば、先の参議院選挙の投票率はどれくらいであったか。地区別で。
  - イ 介護認定が5の方や障がい認定が重い方には、このような制度があることを個別に通知し、必要な書類、「代理記載方法による投票を行うことができる者であることの証明手続き」など同封することは考えられないか。

ウ 介護度4の方が、認定後体調が悪化し、客観的に投票日時点では介護度5に達しており郵便での投票が可能と考えられる場合はどのような手立てが考えられるか。

エ 手続きに時間がかかり、投票日に間に合わないなどの事例はなかったか。

オ 郵便による投票可能の認定条件が厳しすぎる。もっと緩和すべきと考えるが、久喜市の選挙管理委員会の見解はいかがか。

(3) 投票所が遠いことや、投票所の環境により、棄権することが考えられる。改善にむけた取り組みについて伺う。

ア 合併後、投票所を減らしたことはないか。

イ 投票所の設置場所は、見直しの必要があるとしながらも、衆議院や県議会など選挙区に違いがあり、難しいとしているが増やす分には問題がないと考えるがいかがか。

ウ バリアフリー化は、全ての投票所でなされているか。

(4) 10月からスタートする、デマンドバスは玄関口まで来てくれることから、有効活用が考えられる。以下伺う。

ア 投票所はすべて目的地となっているか。

イ 投票所に行く方について、利用料減免するなど考えられないか。

## 5 排水路の浚渫について。

日常生活の中で、市街の居住地域内を流れる排水路の浚渫が滞ると、蚊の発生や、排水が間に合わず道路が冠水するなど大変な状況になる。以下伺う。

(1) 浚渫の優先順位はどのような基準になっているか。

(2) 必要な箇所は把握しているか。

(3) 市民からの苦情や要望が出されているか。いとすればどのようなようになっているか。地区別の件数と主な内容。

(4) 栗橋地区の間鎌336-3から始まり、広島落までの排水路の浚渫は、長い期間実施されずにいるため道路が冠水するなどの状況があり、緊急性があると思うがどうか。

## ③ 石川忠義 議員

1 市民の足や観光目的として貸自転車事業を始めるべきである。市の考えを問う。

(1) 事業の有効性について考えを問う。

(2) 利用者ニーズがどの程度と考えるか。

2 市民農園栗橋を充実させるべきである。久喜市の方針を問う。

(1) 平成25年度の利用率。

(2) 利用者ニーズをどのように把握して、分析しているか。

(3) 現存の市民農園栗橋にも手を加え、充実させるべきであるが、いかがか。

3 生活保護費の不正請求5500万円以上が徴収されていない。また、返還を前提で支給した生活保護費約3000万円以上が返還されていない。対策を進めるべきであるが、市の考えを問う。

- (1) 受給者1人あたりの不正請求最高額、最高の返還すべき額、不正請求最低額、最低の返還すべき額はいかほどか。
  - (2) 不正請求徴収金、返還金で1番古い債権はいつのものか。
  - (3) 不正請求者の中で、現在も生活保護費を受給している人数と不正請求者に占める割合。
  - (4) 平成22年度の不正請求徴収金、約2370万円が現在は約5500万円を越えている。どのように現状を認識しているか。
  - (5) これまでの徴収金、返還金などの徴収方法について説明を求める。
- 4 1年以上、市に納められなかった延滞債権の回収に力を入れるべきである。今後の市の方針を問う。
- (1) 担当課ごとの債権の種類数と平成25年6月末時点での総額。
  - (2) 職員は、債権回収方法、知識などの習得はどのように行ってきたか。
  - (3) 債権回収に関わる手順書や要綱などが必要だと考える。市の考えを問う。
  - (4) 債権の名寄せや個々の債権を把握する必要がある。市の考えを問う。

#### ④ 木村奉憲 議員

##### 1 社会保障制度改革の本質と影響について。

社会保障制度改革国民会議は8月6日、消費税増税と一体で実施を狙う社会保障「改革」についての「最終報告書」をまとめ安倍首相に提出し、8月21日には「プログラム法案骨子」を閣議決定した。報告書は医療、介護、年金、保育など全分野で、給付抑制と負担増ばかりが目立つ内容である。また、「社会保障制度改革推進法」にもとづいて検討された社会保障制度の「改革」方向は、社会保障への国の責任を棚上げし、「自助」を原則とする制度への変質を目指すもので、社会保障制度そのものの解体へと導くもので許せるものではない。このため、以下の質問をする。

- (1) 「最終報告書」と「制度改革推進法」をどのように見ているのか。また、久喜市に与える影響をどうとらえているのか。
- (2) 医療分野で、以下の「改正」についてのねらいと久喜市への影響額と将来への見通しは。
  - ア 70歳から74歳の自己負担の2割への引上げについて。
  - イ 入院給食の自己負担増について。
  - ウ 紹介状のない大病院への受診を定額負担増とすることについて。
  - エ 国保の運営主体を市町村から都道府県に移すことについて。
- (3) 介護保険「改正」のねらいと久喜市への影響額と将来の見通しは。
  - ア 要支援1、2を介護保険給付から切り離すことについて。
  - イ 特養ホームへの入所を要介護3以上に限定することについて。
  - ウ 一定以上の所得(300万円)のある利用者の負担引き上げについて。

## 2 特別養護老人ホームの待機者解消に向けて。

高齢者の生活や介護などをめぐる状況はますますきびしくなっている。とくに特養ホームの待機者や運営、将来計画について多くの課題や問題点がでてきている。このため、国と久喜市の状況を質問するとともに、待機者や運営、将来計画について改善・充実に向けた観点から以下伺う。

- (1) 国と久喜市の待機者の状況について。
- (2) 国の最近の待機者のニーズと入所の在り方検討の結果について。
- (3) 久喜市の待機者の解消、改善・充実に向けた将来計画と進捗状況について。
- (4) 国庫補助制度や交付金、特例基金の動向について。
- (5) 自治体の独自補助や運営費の助成を検討すべきだが。

## 3 公務労働の位置づけと非正規雇用の改善に向けて。

住民のいのち、健康、安全を守るという地方自治体の目的、行政の役割が今、いろんな場面で問われている。その中でその目的や役割をどのようにとらえ、住民の立場にたって行政を行使し、実践していくのか。またその立場で実践していける条件や環境をどのように整え、整備しているのか検証し、充実・改善させることが必要になってきている。このため、公務員、公務労働の在り方について伺う。

- (1) 公務員制度の在り方と公務労働について法的にどのように位置づけられているのか。
- (2) (1) を保障し、支えるため現状での問題点と課題は何か。
- (3) 久喜市の非正規雇用の実態はどうか。(保育園、小・中学校、事務職、技術職について)
- (4) その問題点と改善への方針と計画は。

## 4 道路拡張と渋滞個所の解消を。

とくに合併後の久喜市の交通渋滞解消や生活関連道路の拡張を望む声が大きくなっている。幹線道路の中長期的な計画が進む一方、生活関連道路が従来の機能がはたせない状況も生じている。全市的な都市計画道路網の再検討や大型店や地域開発による交通網の変化などへの対応が求められている。市内の渋滞の状況や迂回路の状況、さらに幹線道路から流れの中で生活関連道路が、その役割を果たせないところも出ている。その実態と改善解消に向け、以下質問をする。

- (1) 市内の渋滞個所とその状況はどのようになっているか。
- (2) 将来予想される渋滞場所はどこか。
- (3) 道路拡幅計画とその進捗状況はどうなっているか。
- (4) 旧久喜市と旧鷲宮町境の2071号線と414号線の拡幅計画の進捗状況と住民への説明はどうなっているか。

## 5 ロチャース内の空き地利用について。

ロチャース（久喜、鷲宮境）内にあったミニ公園が閉鎖され、その状況について以前に質問をし、その後の検討を約束したが、進捗状況はどうか伺う。



## ⑤ 内 田 正 議員

### 1 南公民館と複合集会施設の建設計画について伺う。

昭和53年に建設された江面農村センターは、南公民館としても機能を果たし、現在でも地域活動の拠点となり多くの方々が活用されている。近年は、特に公民館活動での教養の向上、健康増進のための生涯学習活動が展開され拠点となっている。また、先の参議院選挙を始めとした投票所（久喜地区で18ある。有権者4千人を超える2番目に多い所）としても、その役割を果たしている場所である。しかしながら施設の老朽化はもとより、設備においても全てがとぼしい現状である。この様なことから、地域の声として何度となく、当局に「早期建設を求める陳情」や要望書が提出されているが、一向に先の見えない建設計画に苛立ちを募らせている。先頃提出した陳情書は、地域の区長が総意で具体的な招請地や地権者、近隣住民の同意も得てのもので、市の政策的建設計画について伺う。

### 2 すみれ保育園前の市道整備について。

この春開園したすみれ保育園前の市道は、県道から入る所から隣の施設にいたるまで道路の亀裂や用水路端が道路中心から大きく肩下がりの状況にある。この事は工事前から指摘してきたが、工事用車両や重機車両も出入りするので、工事終了後速やかに修復するとのことであった。未だに修復されていない。狭い市道での工事で車両入替には、自分の庭まで協力した近隣市民は怒っている。どう対処するのか、速やかな市道整備を願うが伺う。

## ⑥ 井 上 忠 昭 議員

### 1 民間認可保育所に通園する支援の必要な児童について。

保育所の日常生活を視察させて頂き、また保育士体験事業なども経験して、実際に保育の現場にも入って感じたことだが、なかには支援を必要とする児童が多いクラスもあり、保育士の配置などで園として大変な現状がうかがえた。

認可保育所では、年齢に応じた保育士の配置基準が定められていて、例えば3歳児のクラスでは、1人の保育士が20人の児童を保育できるとされてはいるが、なかには集団生活になじめないケースや、より手厚い支援が必要とされるケースというものがあって、配置基準を超えた人員で保育を行っているクラスがあるのが現実である。

それを前提に以下伺う。

- (1) 現在、何人ほど、支援を要する児童が入所しているのか伺う。
- (2) 市はこうした児童に対して、どのような支援を行っているのか伺う。
- (3) 今後、市として補助金などを交付する考えはないか伺う。

### 2 医療問題について。

- (1) 埼玉県医療対策協議会救急医療部会から埼玉県における救急医療体制の改善に向けた提言がなされ、緊急、短期的取り組み、1年から2年として救命救急センターの整備が盛り込まれた。これを前提に以下、伺う。

ア 県としての見通しを、市はどのように確認されているか。

イ 救命救急センターの前提となる地域救急センターの現状は。

ウ (前議会でも同様の質問をしたが、) 医師確保で早く3次救急化が出来るよう、特別交付税の活用や、またポートピア基金を活用できるようにするなど、久喜市としての財政支援を求める。これに対し、あらためて考えを伺う。

(2) 医療機関や行政だけではなく、医療の現状を市民の側もしっかりと認識することが大切である。医療機関も公開勉強会を行い、また市もフォーラムを行ってはいるが、参加者がなかなか限られたり、広がらないことから、継続性が必要と考える。市としての考えはいかがか。

また、全国を見ても、市民団体が発足して3者が一体として動いていることも多く、地域医療をまさに地域全体で支えることが大切なのだと感じている。本来、市民団体として自然発生的に発足することが望ましいが、行政がそのきっかけをつくっている、協力している例も多い。現在、市の医療に係る市民団体の現状と市としての考えを伺う。

3 (公共用地・公共施設) 使用料と最低限の使用環境を整えることについて。

一例をあげる。今夏のあるイベントで資材置き場として使用するとして、ある団体からの申請に基づき、市は市有地を貸し出したが(使用料1日6千円、5日間)、雑草が繁茂し、そのままではとても使えない状態であった。借主側は、使える状態として草刈りを市に依頼したが、(それ以前の時期に一度行っているという理由から)行われず、借主側団体の所属企業の社員複数で草刈りを行ったという。

今回の例は市所有地の使用料についてであるが、料金、つまりお金を取る以上、それゆえの意識も必要で、最低限の使用上の形・環境は整えられてしかるべきであるし、公共用地・公共施設を問わず当てはまることだと私は考える。

また本来はイベントの大小を問わずあてはまったと思うが、今回のイベント自体に公共的な側面というもの大きいのであって、こうしたことが、一体として市と地域が協力するという気持ちを阻害してしまう。

民間でいう顧客満足度、サービス満足度との「ずれ」は、そうしたところにも表れているのだと思う。使用料と最低限の使用上の環境を整えることについて、市の考えを問うのと合わせ、改善すべきと思っているがいかがか。

4 接遇力向上宣言について。

「やります！おもてなし力UP～接遇力向上宣言～」の取り組みを実施することを、高く評価する。職員ひとりひとりが市役所の顔であり、接遇力を身につけることは、住民サービスを行う上で、もっとも基本かつ重要な要素でもある。この取り組みが成果をあげ、市民・住民の皆様のサービス満足度に貢献していくよう期待をし、以下の点を伺う。

(1) この施策にいたるまでの現状をどのように捉えていたか。

(2) 「接遇」とは、本来どのようなものとするか。

(3) 接遇力向上宣言とはどのようなものか。またなにをめざしていくのか。

(4) 若手職員をリーダーに据えることはとてもよいことと思う。ただ、若手ゆえの支援体制も必要となると考えるがいかがか。

(5) 職員にもすでに接遇力を身につけ、常に心がけが出来ているものと、そうでないものと、温度差があると思う。市民の方々よりご指摘を受けるのは後者の職員と考えられるが、それをどのように改善していくか。

(6) この施策に合わせて、全体的な研修も当然必要と考えるが。つまり総合的に行っていくことが重要と思うがいかがか。

#### 5 集中豪雨対策について。

(1) 連日、報道されているとおり、最近の集中豪雨は、雨の勢いすさまじく、いつ、どこでも起こりうる。これまでの常識を大きく上回る状況をも想定し、全市的な対策や、普段でも水の出やすい（もしくは排水の悪い）地域を個々に想定しての対策・地域との連携なども必要と思うが、久喜市の対策を伺う。

(2) 集中豪雨対策に関する広報も必要ではないか。（児童・生徒に対するものも含む）

(3) 排水能力をあげるためには、U字溝や配水管のつまりをなくすなど、普段の対策も重要である。どのように取り組んでいるか。また、道路工事や建設工事の際に、セメントの残り水をU字溝に流したり、ミキサー車を洗っていくことがあるようで、これがつまりの原因となっていることもある。業者の方々に周知を徹底すべきではないか。

## ⑦ 戸ヶ崎 博 議員

### 1 防災基本条例の提案について。

他市では防災基本条例を制定し、地域防災計画と双方が補完しあい防災の向上に取り組まれている。防災基本条例に対する考えを伺う。

### 2 小林地区の水害対策について。

(1) 小林地区の三十六間樋管の改善がかねてより求められ取り組まれているが、進捗はどう把握されているか。

(2) この、三十六間樋管の問題については、下流の隼人堀川の改修が欠かせないところである。そのためには相当の時間を要するものと考えられる。そこで小林地区の水害対策について、市としての計画について伺う。

### 3 団塊世代の男性が挑戦できる地域貢献の取り組みについて。

団塊世代のとくに男性に、現役時代の経験を地域に生かしていくことが求められている。例えば、地域の保育、子育て支援現場、教育現場のバックアップ支援などが考えられる。そこで、それらの支援のための講座の開設を考えてはどうか。

### 4 生活道路の改善について。

(1) アリオ鷺宮店オープン後、周辺道路は交通量が増してきている。市道久喜2071号線及び市道鷺宮414号線は、先の議会でも取り上げたが、早急な改善が求められているところである。またこの道路は交通対策のみならず、水害から地域を守るためにも非常に重要なところである。早期の改善を計画されたいが伺う。

(2) 市内の道路改良は、建設関係部門と農政部門で行われてきた。そのなかで農政関係の道路改良には側溝整備がなされていないところも少なくない。近年住宅の郊外化も進んでいるところであるが、側溝整備に対する考えを伺う。

5 自転車交通の安全対策について。

- (1) 埼玉県教育委員会では、自転車の交通安全対策のために、スケアード・ストレイト事業の推進を図っている。久喜市の中学校でも実施できないか伺う。
- (2) 道路交通法では自転車の通行は左側交通が明記された。小、中学校での交通安全教育で徹底を図るべきと考えるがどうか。
- (3) 自転車損害保険は、高校生には加入が進んでいるようである。小・中学生の加入も促進すべきだが、考えを伺う。

6 太陽光発電の補助制度の活用について。

文科省では公立学校などに対し太陽光発電に対する補助制度の活用を推進している。旧久喜でも活用をしてきたがさらに積極的に活用すべきことと考えるがどうか伺う。

# 【第3日目 9月10日（火）】

## ① 鈴木精一 議員

### 1 債権管理及び回収の適正化について。

この設問は、その後の進捗と方向性を伺うものである。

市が有する債権は、市税と公債権、私債権に分類され、これらの債権の適正な管理、回収は自治体の責務となっている。市政運営の根幹をなす税規律は、納税義務意識と税負担の公平性があるが成り立つが、債権管理及び回収の適正化がその支えだ。この職務にあたる職員の姿勢は、向き合うべき課題に正対し、誠実に取り組んでいる。この課題の対処方法は、債権を持つ全課が当事者意識を持つこと、課をまたぐ連携協力することが欠かせない。債権管理及び回収の適正化を一部の課に全面的に負担させてしまえば、ポテンシャルの維持は困難だ。職員のスキルも偏り、全課的な広がりにはならない。2月議会で、今後の取り組むべき方針が示されているが、その答弁に沿って、以下、伺う。

#### (1) 2月4日以降の庁内連絡会議の経過と内容について。何が話し合われ、どう進んでいるか。

(一元化する債権の選定、一元化の効果、一元化に向けての課題と対策の整理、ガイドラインの策定)

#### (2) 各課の課題とされたことの進捗は。

(債権管理台帳の整備と統合、情報の共有、スキルアップに向けた庁内及び外部研修、徴収事務マニュアル策定)

#### (3) 債権管理及び回収にあたるマンパワー不足と効率性、債権を持つ全課の当事者意識の格差が新たな課題だ。

ア マンパワー不足に対処するため人員の効率配置(集中化)を行うべきである。(総務部・人事)

イ 債権を持つ全課の当事者意識を徹底させるべきである。

ウ 債権管理及び回収業務の見える化を行うべきである。

(債権回収の進行状況が見える化と担当部＝財政部間での情報共有)

#### (4) これらの手順を踏んだのち、債権管理室の設置、債権管理条例も視野に入れるべき。

### 2 久喜断層問題に決着を。

この設問は、久喜断層問題に明確なピリオドを打つ。その主体的方策を久喜市でやるべきとの趣旨で伺うものである。

巷間言われてきた「久喜断層は存在しない」。つくばの産業技術総合研究所が行った久喜断層についての最終的な知見が年度内にまとめられる。久喜断層をめぐる経緯は30年間以上に及ぶ。公的機関を通じて周知がされ、本市の中央部を走る活断層があるとの認識が広がっていった。久喜断層を巡る環境に大きな変化が表れたのが平成17年頃。埼玉県中央部の大宮台地から加須低地にかけ久喜断層を含む精密な地質調査が行われ、久喜断層そのものの実態がないと明らかになっている。このような経緯の中、巷間言われてきた久喜断層は無いと市民に周知させるべきと言ってきたが、市は消極的な動きに終始、主体的な取り組みは全く行ってきていない。市民からは今なお久喜断層を案ずる声がよく聞かれる。久喜断層問題に決着をつけるべきだ。

(1) 多くの市民が久喜断層はあると信じている。これまでの経緯からすれば当然だが、このままでよいのか。

この5年間で久喜断層の知見は大きく変わった。それに呼応する市の対応はあまりにも不誠実だ。(分かりづらい産総研の調査をネットにそのまま掲載しただけ。情報を探すことも困難で、初めて見た人は意味不明。市民の視点に立っていない)これをどう受け止めるか。

久喜断層が噂であったとしても、まちの価値は損なわれるし、噂を打ち消さないことのマイナス効果は存在する。これをどう考えているのか。

(2) この問題の決着は次のような手順と考える。

- ・産総研との打ち合わせ、
- ・広報やホームページで市民にお知らせ、
- ・専門的知見から研究者を久喜市に呼んでシンポジウムや講演会を開催、

この手順で市民への周知と認知を図り、噂を打ち消す。そのうえで防災計画は別途きちんと推進していくことが誠意ある対応ではないか。

### 3 アスファルトの劣化について。

この設問は、アスファルトの劣化が目立つ道路・駐車場の早期修繕を行うべきとの趣旨で伺うものである。

市道や総合文化会館駐車場でのアスファルトの劣化が目につく。アスファルトが劣化した道では小さな砂利がむき出しになり、車の走行の度にそれらが周囲に飛ばされる状況になっている。このような場所では早急な修繕が必要だ。

また、久喜総合文化会館駐車場では、アスファルトが劣化し凹凸が顕著。透水性舗装でありながら降雨後はしばらくの間、水たまりができる。使用感も見栄えも悪く、本来の性能も発揮できていない。久喜総合文化会館は市の顔だけに、早急な修繕は必要だ。このような事例は今後も続くだけに、社会資本修繕のため、資金準備を整える必要があるが以下伺う。

(1) アスファルト寿命はどう算出しているか。本市の基準は。

市道・駐車場等のアスファルト劣化を、どう把握しているか。

(2) 修繕計画はどう策定しているのか。

また、修繕すべき個所の今後の対応は。

(3) 社会資本を修繕する資金をプールする必要がある。

そのための基金を作り、ここに臨時財政対策債的な資金を充当するのも一考ではないか。

(財政)

### 4 コンテンツツーリズムについて。

この設問は、交流人口と経済効果を上げていく新たな手法に積極支援を行うべきとの趣旨で伺うものである。

コンテンツツーリズムは、アニメ・映画・テレビなどの映像コンテンツ、コミック・小説などの活字コンテンツを活用した新たな街の活性化策のこと。本市は「らきすた」が先導的な役割を果たした。この成功例が全国に波及し、いくつものアニメツーリズム成功例が出てきている。更に、この動きに呼応し、国、県も施策を打ち出しており、県内の春日部、秩父、飯能、川越では自治体を巻き込んだ活動を展開、人の動きも経済効果も、点から面への展開に変わりつつある。コンテンツツーリズムは新たな飛躍の時期を迎えている。支援の充実や広域展開を図るべきだ。

- (1) らきすた、栗橋みなみの効果について。  
交流人口や経済効果はどのくらいか。
- (2) 市の具体的な支援は。県内他市との比較はどうか。  
他自治体が勢いを増す中であって、本市の支援をどう捉えているか。
- (3) コンテンツツーリズムで久喜市をメジャーにする施策の展開を。
  - ア 集客事業・街なか回遊事業の実施。
  - イ コラボ化の推進。
  - ウ 広域連携の推進。
  - エ 人も予算も増加させて、強力なバックアップ体制を作るべき。

## 5 選挙について。

この設問は、久喜市の関わる選挙に市は市民にとってどうあるべきかとの視点で伺うものである。

ネット選挙元年と言われた参議院選挙。ここから見てきた久喜市の関わる選挙に生かすべき課題について伺う。

- (1) 期日前投票が増加している。現状を踏まえれば、選挙公報を市のホームページに記載する時期と周知方法を検討すべき。
- (2) ネットによる投票率の向上効果は見られていないが、将来的には大きくなると予測される。ネット選挙を周知させる継続的な取り組みが必要ではないか。

## 6 久喜の特産品「梨」がピンチ。

高温障害により「みつ症」が発生している。梨は本市の代表的な農産物なだけに、この被害による影響が懸念される。豊水梨は出荷が始まったばかりで全体像はつかめていないが、被害が拡大するようでは久喜の特産品がピンチだ。現状と支援について伺う。

## ② 猪 股 和 雄 議員

### 1 市内の中学校の不登校生徒で長期間「所在確認」ができていなかったケースがあるが、経過と対応を問う。

市内の中学校で、昨年から数か月間、不登校が続いていた生徒で、教師などの学校関係者が家庭訪問してもまったく本人に会えなかったケースがあった。これは事実上、“生存確認”ができていなかったことを意味する。(7月になって担任の教師が家庭訪問した際にやっと本人の顔を見ることができた。)

- (1) このケースについて、学校の対応、相談員、スクールソーシャルワーカー、教育委員会への報告と指導、児相、子育て支援などの福祉部門との連携などの経過と対応を、明らかにできる範囲で説明されたい。

生存確認ができた(顔を見ることができた)だけではすまないはずだが、その後の対応はどうなっているか。

- (2) 期間の長短はあれ、外部の人間が面会できないケースが他にもあると聞かすが、いかがか。
- (3) 長期間、児童生徒の“生存確認”ができない状態が放置されてはならない。こうした

ケースがあった場合、学校で問題を把握して、教育委員会や福祉部門を含めた関係部署との連携を含めてどのように対応するか、考え方を示されたい。

基本的にはケースごとに慎重かつきめ細かな対応が必要であるが、最低限のマニュアル化も必要ではないか。

## 2 公共施設の不適正な予約・使用があった。経過と今後の対応を伺う。

(1) 7月に、市外の団体が、ふれあいセンターの3階1～5の全部の会議室を、全日予約して使用した。問題は次の通りであるが、認識を問う。

- ・昨年12月に生涯学習課の名義で「仮予約」されたが、実際に使用したのは市外のスポーツ団体連合組織（構成団体に市内のスポーツ団体が入っている）であった。
- ・市外の団体（ふれあいセンター登録団体でもない）であれば、使用料を納付しなければならないが、納付していない。免除手続きも取られていない。
- ・実際には午後だけの使用であったのに、午前中と夜間も予約し、使用しない枠の取り消しもしていない。

(2) 結果的に何重かの条例違反の使用を、行政が便宜を図り、市民の利用を妨害したということになるが、見解を伺う。

(3) 公共施設の会議室等を全日おさえて、実際には使わない、取り消しもしないという例は過去にもあって、指摘したことがあるが、なぜ繰り返されるか。

今回のケースについても、後で生涯学習課に指摘しておいたが、課内だけで処理されたようだ。問題点を行政全体で共有し、教訓化しなければならないはずだが、見解を伺う。

## 3 公共施設の利用時間の区分を変更すべきであるが、考え方を伺う。

(1) ふれあいセンターの利用時間区分は、9時～12時、13時～17時、17時30分～21時であり、公民館等は9時～12時、13時～15時、15時～17時、17時30分～22時となっている。いずれも12時～13時の1時間は午前から午後の連続使用でない限り予約（使用）できないことになっている。

会議等を午後1時ないし1時半から開会したい場合、多くの場合、会場設営などのために午前中の区分もおさえるので、結果として、午前中はほとんど使わないのに予約が入っているケースがある。このような実態を把握しているか。

(2) この問題を解決するためには、午後の利用区分を「12時30分～」とすればいいのだが、いかがか。

(3) これまでにもこのような改善を求めてきたが、なぜできないか、理由を説明されたい。

## 4 公共施設予約管理システムの改善を図るべきであるが、方針を伺う。

(1) 公共施設予約管理システムの登録団体が、ふれあいセンターを予約して、最後に確認画面を表示させ、「予約申し込み完了確認」の印刷を行うが、画面、印刷ともに、ア. 予約した団体名が表示されない、イ. 登録団体で使用料免除であっても、「使用料」欄に金額が記載され、「仮予約」と表示される。なぜこのようなシステムにしているか。

(2) 予約管理システムで予約完了後、その確認画面と記録（控え）としての印刷に、予約した団体名が表示されるべきである。また使用料免除の登録団体は「仮予約」や使用料が表示せずに、「(本) 予約」と記載されるべきであるが、どう考えるか。

これらはシステムの欠陥と考えられるが、いかがか。



- (3) 現状では登録団体は、「仮予約」のまま使用している形になっている。民間施設であれば、このようなシステムの欠陥を放置しておくことはありえず、「接客力アップ」とか「おもてなし」の心とは無縁である。早急にシステムを改善すべきであるが、いかがか。
- 5 久喜市の選挙開票事務の迅速化、効率化を図るべきである。
- (1) 7月の参議院議員選挙における比例区の開票は、久喜市の確定時刻は午前2時28分で所要時間328分、蓮田市は午後11時53分で所要時間173分であった。
- 昨年12月の衆議院議員選挙は、久喜市久喜菖蒲開票区は投票数42000、開票事務従事者数147人、所要時間175分、栗橋鷺宮開票区は投票数3万、従事者数101人、所要時間200分であった。
- 蓮田市は投票数31000、従事者数122人、所要時間105分で、栗橋鷺宮開票区と同規模でありながら2分の1の時間で開票を終えている。
- 行田市は投票数4万で、従事者数わずか40人で所要時間148分で、作業効率は久喜菖蒲開票区の4倍であった。(効率性県内1位)
- 久喜市の開票作業が、なぜこんなに効率性が低く、なぜこんなに遅いのかの理由をどのように認識しているか。
- 逆に、開票効率のよい市の理由を、どのように調査し、分析しているか。
- (2) 最近では、開票台などの工夫は同じと考えられるから、久喜市の開票従事者の指揮系統の問題や開票作業の流れの中に「ムダな時間」が多いと考えられるが、見解を問う。
- 今後の改善、効率性の向上に向けて、具体的な改善方策を検討すべきであるが、いかがか。
- 6 久喜市メール配信サービス(子育て支援情報、安全・安心情報、市政・イベント情報、防災行政無線情報)の登録を市民に積極的に進めるべきである。
- (1) 現在の登録者数の現状と、登録促進について、認識を問う。
- (2) 自分で登録できない市民も多い。市の公共施設などで、市民から申し出れば、市の職員が登録作業を代行する(またはその場で教えながら携帯などに登録する)というサービスを積極的に行っていただきたいが、いかがか。
- (3) 市役所の各施設や窓口に、メール配信サービス登録呼びかけとQRコードを印刷したカードを置いてはいかがか。

### ③ 春山千明 議員

- 1 幼稚園と小学校の連携をさらに強化するべきであるが、いかがか伺う。
- (1) 久喜市内においての小1プロブレムの現状と課題認識を伺う。
- (2) 公私、全ての幼稚園と全ての小学校のそれぞれの連携に関しての実態を伺う。
- ア 子どもたち間の連携に関して、具体的な交流活動事業等はどのように行っているのか伺う。
- イ 教員間の連携は具体的にどのように行っているのか伺う。
- (3) 小1プロブレムの解決のために久喜市内全ての幼稚園と全小学校の連携は強化していく必要があると考えるが、久喜市教育委員会の見解を伺う。

- 2 鷺宮地区の学校給食用エレベーターの使用に向けての取り組みについて伺う。
  - (1) 児童生徒の安全を第一に考え、鷺宮地区の使用していない学校給食運搬用エレベーターは早期に使用できるようにするべきだが、前議会後の各校のエレベーターの現状把握の進捗状況を伺う。
  - (2) 使用再開に向けての取り組み計画を具体的に示し、早期に使用可能とするべきであるが、いかがか伺う。
  
- 3 来年度からの久喜市の学期制について伺う。
  - (1) 学期制を「3学期制」ではなく「新3学期制」とした久喜市教育委員会での経緯を伺う。
  - (2) 来年度から統一して導入される新3学期制の具体的な内容を伺う。
    - ア 現在の2学期制からみてどこがどう変わるのか伺う。
    - イ 現在の3学期制からみてどこがどう変わるのか伺う。
  - (3) 久喜市教育委員会はこの決定を十分に周知し、理解を求めるべきであるが、教員、児童生徒、保護者、地域それぞれどのようにしていくのか伺う。
  
- 4 老朽化の進む久喜市立中央保育園園舎は早急に全面改修をするべきであるが、いかがか伺う。
  - (1) 市は中央保育園園舎の現状をどのように把握しているのか伺う。
  - (2) 今まで中央保育園の職員、保護者からの声をどの程度把握していてどう対応してきたのか伺う。
  - (3) 今までのような目先だけの改修では限界である。建て替えが出来ない状況で、現在の場所で存続させていく考え方ならば、改修を行うべきであるが、いかがか伺う。

#### ④ 宮崎利造 議員

- 1 国民健康保険の施策について。
  - (1) 国民健康保険財政の現状と将来見込みについて伺う。
  - (2) 医療費抑制の取り組み状況と成果について伺う。
  
- 2 下水道の水洗化の促進について。
  - (1) 下水道処理区域として公示した日から起算して3年経過しても接続せず、水洗便所に改造しない世帯はどのくらいあるのか伺う。
  - (2) 3年経過しても改造接続しない世帯について、その状況をどのように把握しているか。又水洗化を進める方策をどのように考えているのか伺う。

## ⑤ 矢 崎 康 議員

### 1 デイジー教科書の普及について。

- (1) 前回の質問後、児童生徒及び保護者からの声は把握しているか。
- (2) 教職員の中で効果的な活用の検討は、なされたか。検討されたならばその内容を伺う。利用方法についてもお示しいただきたい。
- (3) デイジー教科書の活用にはパソコンが必要となるが、合併後の余剰パソコンの活用はできないか。現状について伺う。

### 2 A E Dの管理者制度について。

- (1) 現在、公共施設におけるA E Dの定期点検が適切に行われているかなど、どのように管理状況を把握されているのか。責任者は明確になっているか伺う。
- (2) 志木市は、公共施設の課長級職員を管理者に指名し、責任を明確化し、年に1回点検状況などを担当部長に報告するよう運用の見直しをしている。久喜市においても管理者制度を創設してはいかがか。考えを伺う。

### 3 小型家電リサイクルについて。

この小型家電リサイクルについては、今年2月定例会の代表質問でも取り上げ、認定業者が決定次第実施していくとの答弁をいただいた。また、内容はピックアップ方式での回収であったが、是非ボックス回収も行っていただきたい。なぜならば、平成24年9月議会において一般質問したように、レアメタルの回収解体事業は障がい者の安定した雇用の確保と賃金の向上にもつながるからである。この時「福祉部門だけの取り組みは難しいので、関係課、関係機関と連携を図り、先進地の事例も参考にしながら調査研究してまいりたいと考えている。」との答弁であった。今日までどのような取り組みがなされてきたのか伺う。

### 4 市道栗橋1112号線二重堀橋の早期改修について。

平成25年5月26日に、南栗橋11丁目自治会が設立した。この11丁目北部を東北東へと流下している二重堀にかかる二重堀橋、外沼橋、ふれあい橋は、河川改修後道路が沈下しているため、住民より改修を求める声があったので以下伺う。

豊田土地区画整理事業により誕生した南栗橋地区内の市道1112号線の二重堀橋付近は、橋の両端が沈下により下がっている。今後走行時、車の底を擦ってしまう心配のある箇所である。まず、二重堀橋の早期改修を求めるが、考えを伺う。

### 5 ガスオープン設置について。

- (1) パンづくりを楽しんでいる団体の方から、上記の要望を伺った。この団体が、普段活動している栗橋公民館の調理実習室に、パンづくりのためのガスオープンを設置していただきたいが考えを伺う。
- (2) 上記設置までの間、保健センターの調理室を活用することはできないか伺う。

## ⑥ 鈴木松蔵 議員

- 1 次の三つの例について、市の事業の施行の順序（優先度）の考え方について伺う。
  - （1）調整区域への公共下水道の整備について。
  - （2）生活道路ではない2車線の主要道路の整備について。
  - （3）市内循環バス・デマンド交通運行事業とその他の公共下水道事業や道路整備事業との優先順序について。

## 【第4日目 9月11日（水）】

### ① 青木信男 議員

#### 1 旧菖蒲高等学校跡地について。

旧菖蒲高等学校跡地については、平成25年6月議会において久喜市が運動施設としての利用を図りたい旨を埼玉県に伝えるとともに、久喜市としては当該跡地の取得を大前提として、できるだけ早い時期に結論が出るよう埼玉県と協議していくとの答弁があった。

その後、譲渡の条件などについて協議がなされてきたと思うが、現時点での埼玉県との協議の進展状況等について伺う。

#### 2 都市計画道路寺田上中島線の開通の見通しについて。

都市計画道路寺田上中島線の開通の見通し、開通に向けたスケジュールはどのようになっているか伺う。

#### 3 農用地区域からの除外申し出の受け付けについて。

農業振興地域内の農用地区域内の農地に自己用住宅などの建物を建築する場合、農用地区域からの除外の申し出を行う必要があるが、平成25年度の除外申し出の受け付けについては、7月の1回のみでの受け付けとなっているようだが、なぜ1回なのか。

また、平成26年度以降も1回のみでの受け付け予定なのか伺う。

### ② 梅田修一 議員

#### 1 観光協会の合併と機能強化について。

(1) 現在市内に3つの観光協会があり、地域ごとの活動を行っているが、新久喜市として統一した観光行政を推進していくべきである。久喜市として今後観光協会に期待する役割は何か伺う。

(2) 本年12月に懸案であった久喜市内の4商工会の合併が実現する。商工会の合併に伴い、関連性の深い観光協会の合併に向けた動きも加速させていくべきである。合併の方向性について伺う。

(3) ばらばらに行われてきた久喜市の観光行政の統一、推進のためには、合併後の観光協会の機能強化が必要と考えるが方針を伺う。

#### 2 市役所内における熱中症対策について。

(1) 久喜市役所の空調設備の老朽化による環境の悪化が顕著である。猛暑日の市役所内の環境について、どのように把握されているか伺う。

- (2) 市役所を利用される市民や市職員の健康に対する配慮が必要である。市役所内における熱中症対策を講じる必要性について伺う。
- (3) 快適な環境を維持するために機動的な空調管理が求められるが、現状と課題について伺う。
- 3 県道川越栗橋線の交差点整備について。  
市道鷺宮17号、18号線と県道川越栗橋線の交差点は現在クランク型になっており、交通渋滞の原因となっている。大型商業施設のオープンにより、交通量が増加し、早期改善の必要がある。交差点改良に対する進捗状況と、完成に向けた今後の計画について伺う。
- 4 自治体間の交流・連携強化について。  
(1) 久喜市と青森県野辺地町による友好都市の協定が締結された。これまでも菖蒲地域を中心に、様々な交流が図られてきたが、久喜市全体に友好の輪が広がることが望まれている。友好都市となったことで今後どのような交流、連携が図られるのか、現状と課題、今後の方針について伺う。  
(2) 久喜市と愛知県刈谷市による災害時応援協定が締結された。より効果の高い応援協定とすべく自治体間の交流・連携を図るべきであるが、方針について伺う。
- 5 地域ブランドの創出について。  
地域の活性化と産業振興に地域を挙げたブランドづくりと、その発信に力を注いでいる自治体が増えている。新生久喜市として統一した久喜ブランドを開発助成し、地域の付加価値を高める必要がある。地域ブランドの創出は、市民は久喜市民としての誇りを感じ、市外からは多くの皆様が久喜市に注目し、久喜市に来たくくなるような取り組みである。戦略的に久喜市のブランド化を図り、地域ブランドの創出を図るべきであるが、考えを伺う。

### ③ 園部茂雄 議員

- 1 情報発信について。  
久喜市の情報発信は久喜市ホームページ、防災無線、広報くき、メール配信サービス、ツイッター、フェイスブックと近隣市町に比べて積極的に情報発信のツールを整備している。  
ツイッターやフェイスブック、情報メールは久喜市ホームページを補完するための手段としての活用と特性を活かした活用があると思う。  
しかしながら、重要と思われる情報について、発信される媒体が、まちまちであり、一貫性に欠けていると思われる。各媒体を使った情報発信について、庁内で統一すべきだが市の考えを伺う。  
また、情報発信に関係し、市長等の記者会見の際にはバックパネルを作成して、久喜市のPRを図るべきだが、市の考えを伺う。
- 2 各種証明書の手数料について。  
現在の住民票、印鑑証明書の手数料について、県内各市町からすると久喜市の証明書発行手数料は1.5倍～2倍の料金設定となっている。

平成17年に行財政改革で従来の2倍に改定された経緯があり、合併協議の中でも久喜市の料金に統一が図られ今日に至っている。

しかしながら、県内40市の中で一番高い状況にあり、近隣自治体間の均衡についても配慮が必要であると考えます。

そこで以下の点について伺う。

- (1) 住民票・印鑑証明の手数料格差をどの様に考えるか伺う。
- (2) 手数料は原則3年毎に見直しを行うべきだが、これまでの市の考えを伺う。

### 3 古民家の保存について。

平成23年2月議会で同様の質問を行い、平成24年度には2件の古民家調査を行っているが、平成25年度には予算措置がされていない。古民家を残し、久喜市の文化財として活用すべきだが市の考えを伺う。

- (1) 古民家の文化財指定について、23年度以降のこれまでの取り組みを伺う。
- (2) 所有者が居住したままの古民家を文化財等に指定し、維持管理に補助をして、歴史的に価値のある古民家として保存すべきだが、市の考えを伺う。

### 4 情報モラル教育とネットアドバイザー育成について。

最近、青少年の稚拙な投稿記事が連続して、店舗閉店、訴訟問題、更に19歳の青年2人の逮捕者まで出てしまった。

これらの事件に対していかに情報モラルが欠如しているか、改めて教育の必要性が認識されたと思う。

そこで以下の点について伺う。

- (1) 情報モラル教育における教育委員会と学校（講演・説明会等含め）の取り組みを伺う。
- (2) 埼玉県はネットパトロール事業を24年度で終了、小・中学校は各市町村に運営をお願いしているが、久喜市のネットアドバイザーの育成状況を伺う。

## ④ 足立 清 議員

### 1 核兵器廃絶を目指す平和市長（首長）会議に参加し、久喜市長の果たす役割をどう考えるか。

昨年9月議会で、久喜市も平和市長（首長）会議に参加すべき、と提案した。本年は4年に一度開催される、第8回「平和市長会議総会」が8月3日から6日まで広島市で開催され、市長は5日・6日と初めて参加をしたが、今後市長として「核兵器廃絶へ向けた運動と役割」を、どのように果たして行こうと考えられたか伺う。

### 2 建築物の耐震化の現状把握について。

- (1) 久喜市内の住宅・土地統計調査を実施していると思うが、昭和56年6月に建築基準法が改正されたことによる旧基準と新基準の建築年代別住宅戸数について伺う。
- (2) 旧基準の建築数と耐震化率について伺う。
- (3) 耐震化済建築物の表示制度の導入について市の考えを伺う。

- 3 休日や夜間、「スポット災害（市内の一部地域の災害）」時の職員出勤判断と対応について。
- (1) 7月12日の落雷により、久喜市内の広範囲で停電があった。長いところでは3時間あまり停電が続き、夜間でもあり、どこにも連絡が取れず、市民の不安は頂点に達していた。こうした「スポット災害」の際、市の対応について考えを伺う。
  - (2) こうした災害の場合に、防災行政無線を活用し情報提供や、市職員の広報活動など、対応がなかったことが指摘されているが、市の考えを伺う。
- 4 デマンド交通運行開始及び循環バスの延伸について。
- (1) デマンド交通の利用形態について、想定される以下の点について伺う。
    - ア 同じ場所から複数の人数で乗車したい場合でも、個別に予約が必要か。
    - イ 市外に住んでいる人が遊びに来た場合、一緒に利用出来るか。
    - ウ キャンセル料は発生するのか。
    - エ なぜ総合病院へ運行されないのか。
    - オ 利用対象が久喜市民、久喜市在勤及び通学者等、いわゆる市民全員が利用対象者となっている。なぜ登録が必要なのかとの意見もあるが、市の考えを伺う。
    - カ 実施後、運行実証検討会議はどのように考えているか伺う。
  - (2) 循環バスが、わし宮団地まで延伸運行する事になった。延伸運行路線に5箇所の停留所が設置される事になっているが、バス専用停車スペースのある場所に、屋根付き停留所を設置して頂きたいが、市の考えを伺う。

## ⑤ 大谷和子 議員

- 1 特定健康診査の受診率について。
- 40歳から74歳までの市民を対象とした特定健康診査受診が2008年に導入され5年が経過し6年目を迎えた。現状と課題を伺う。
- (1) 合併後これまでの久喜市の受診率の推移は。
  - (2) 受診率向上に対し、どのような取組みを行ってきたか。
  - (3) 今後の課題と取組みは。
- 2 通学路の安全対策について。
- 通学路の安全対策についての取組みを伺う。
- (1) 通学路の点検はどのように行われているか。
  - (2) 交通指導員、PTAや地域住民などから寄せられる要望等に対する対応は。
  - (3) 点検結果や要望に対して、目に見える諸対策の迅速かつ計画的な実施が必要と考えるが、どのように取組むか。
- 3 若手教員育成について。
- 昨年6月議会でも質問し、ベテラン教職員の大量退職、若手教職員の大量採用による教職員の年齢構成の急激な変化が危惧される中、若手教職員の育成が大きな喫緊の課題と認識しているとの答弁を頂いた。今年はどうような取組みがされたのか。



また、現在の管理職が若手だった頃と、現在の若手教員の状況とのギャップは大きいと感じているが、育成指導で留意していることはあるか。